

# No-Dig Today

## 表紙デザイン変更にあたり

尾崎 正明  
OZAKI Masaaki

機関誌編集委員会委員長  
(公社)全国上下水道コンサルタント協会  
専務理事



お手元に届いた本号の表紙をご覧いただいたご印象はいかがでしょうか？ No-Dig Today表紙デザインを本号から変更しました。

創刊号の表紙とともに、デザインを変更した44号、72号の表紙をお示ししています。これまで、ほぼ10年毎に変更してきましたが、初めはシンプルなデザイン、次は一部をネガポジ反転加工した斬新なもの、そして、三つ目は前号までの街の風景となります。今回は、令和の時代を迎え、改めて、初めのデザインに回帰したものといえるかもしれません。

きっかけは、表紙のデザインから内容が分からない方がいるのではとのお話を伺ったことでした。機関誌名を「非開削技術」とし、初めてご覧いただく方にも直ぐに内容が分かっていただけで、素直に手に取っていただけるものと期待しています。

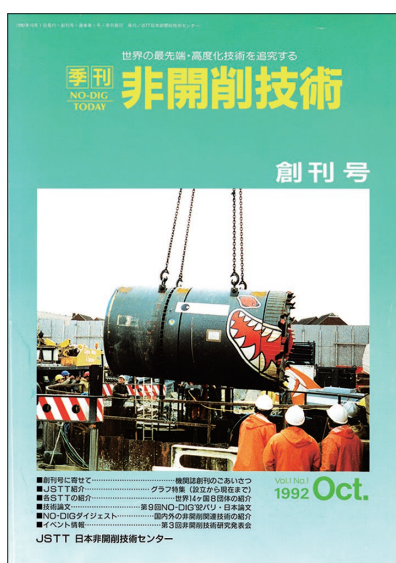
現在、2015年の国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みが進んでおり、特に最近では、民間企業での取り組みが注目されています。

そのため、副題にあった「環境にやさしい」を機関誌名の冠としました。

本機関誌は技術特集を中心としたものですが、これまで通り、海外や国内のイベント情報など時宜を得た情報につきましても併せてお伝えしていきます。特集に関しましては、第8クールの3番目のテーマを迎えたところですが、表紙の写真には特集号に関連した写真を掲載させていただくことにしました。

また、本号から「知って得するシリーズ」を再開しました。「知って得する 身近な・Science」として106号まで西尾先生に長年ご連載いただいたものですが、ソーシャルコスト検討委員会委員でもある松永様に、今回の再開にあたって執筆をお願いしたものです。今後の展開にご期待いただければと思います。

編集委員会では、引き続き、読者の皆様に興味を持っていただける記事をお届けしますので、今後とも季刊「環境にやさしい非開削技術」をよろしく願いいたします。



創刊～43号



44～71号



72～110号